



施工説明書

裏面にお施主様用の「使用上のご注意」が記載してありますので、必ずお施主様にお渡しください。

サーモタフリモデル部材

サーモタフ＋サーモタフ上貼り用テープ＋あたたか用ボンド



注意

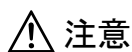
本製品には、2種類の施工説明書が同梱されております。本製品を「高効率暖房床エコリード」の仕上材として使用される場合は、もう一枚の施工説明書をご覧ください。

必ずお守りいただきたいこと



危険

- (1) 本製品を弊社指定以外の仕上材分離型床暖房システムの発熱体に直接施工することは絶対にお避け下さい。本製品は熱伝導性に優れるため、表面温度が上がりすぎ、低温やけどを起こす恐れがあります。
- (2) 安全のため、「サーモタフ」の切削加工時には防塵マスク、保護メガネ等を着用して下さい。加工時に発生した粉塵等で、負傷する恐れがあります。



注意

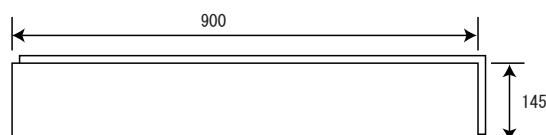
- (1) 本製品を施工する場合は、弊社指定の「サーモタフ上貼り用テープ」及び「あたたか用ボンド」を必ず併用して施工して下さい。長期の使用により、「サーモタフ」がはがれたり、床鳴りの原因となります。
- (2) 本製品は、一般内装（上履き用）です。重歩行用（土足用）には使用しないで下さい。床表面を傷付ける恐れがあります。
- (3) 本製品は、必ずレンガ張りとして下さい。継ぎ目部分の破損や変形の原因となります。
- (4) 「あたたか用ボンド」を塗布する場合には、必ず「サーモタフ上貼り用テープ」に同梱の専用先端ノズルに付け替えて施工して下さい。接着剤の塗布量が多くなりすぎるため、「サーモタフ」の継ぎ目から、接着剤が染み出したり、両面テープ上に接着剤が塗布され、初期接着不良の原因となります。
- (5) 本製品は、表面仕上に凹凸処理（加工）やフッ素加工処理等の特殊加工を施した床仕上材の上貼りには使用できません。接着不良や床なりの原因となる可能性があります。
- (6) ピアノ、大型冷蔵庫等の重量物を置く場合には、下地の補強を十分に行って下さい。また、脚部には、必ず敷き板（10cm角程度）を入れ、重量を分散させて下さい。仕上げ材を破損する原因となります。
- (7) 養生には、必ず弊社の養生マットと養生シートを使用して表面を保護して下さい。布製テープやクラフトテープは粘着力が強く、仕上げ材表面を傷付ける恐れがあります。
- (8) 養生テープは、ゆっくりとはがして下さい。急激にはがすと仕上げ材表面を傷付ける原因となります。

梱包内容

- (1) 製品サイズ：3.5×145×900mm (2) 梱包入り数：12枚／梱（1.57㎡）

製品姿図

- (1) 四周本実加工を施しておりますので、雄実・雌実をご確認の上、施工下さい。



施工前の確認事項

(下地工事) ・

●施工前に下地条件をよくご確認下さい。

<施工可能な下地条件>

- ・既存の木質床材及び木質床暖房・
(裏面クッション付【直張、遮音等】フローア、無垢フローア、粘着【両面】テープ施工されたフローアを除く)
- ・合板(針葉樹合板等の表面の粗い合板はのぞく) ・

<施工できない下地条件>

- ・コンクリート ・ALC ・クッションフローア ・Pタイル
- ・カーペット ・無垢フローア ・クッション付フローア
- ・粘着(両面)テープ施工されたフローア
- ・弊社指定以外の分離型床暖房システム発熱体 ・
- ・その他特殊加工(凹凸加工等)が施された床仕上材

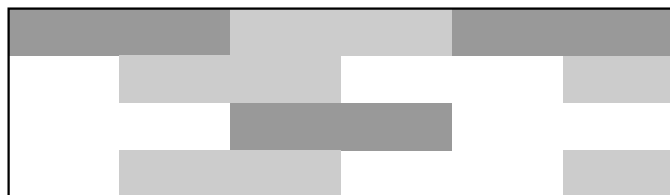
●下地の段差及び目隙は、0.5mm以内とし、段差の大きい場合は、カンナ等で、できるだけフラットになるように調整して下さい。また、目隙の大きい場合は、下地フロアの目隙の大きい部分と「サーモタフ」の目地が重ならないよう、割り付けを行って下さい。

●本製品を既設床暖房の上貼りリモデルに使用する場合は、既設の床暖房設備が正常に作動していることを確認の上、施工して下さい。 ・

●本製品を既設床暖房の上貼りリモデルに使用する場合は、完全にフロアが冷えた状態で施工を始めて下さい。

(フロアの仮並べ) ・

- 「サーモタフ」は、天然木仕上げ材を使用しています。
表面の色柄にバラツキがありますので、必ず仮並べをし、色柄のバランスを取って下さい。 ・
- 施工場所が暗く表面の色柄が確認しにくい場所では、必ず明るい場所へ移動して確認作業を行って下さい。



施工前に準備するもの

- 市販のWAX剥離剤 ・
- サーモタフ上貼り用テープ ・
- あたたか用ボンドL(必ず、先端ノズルを「サーモタフ上貼り用テープ」に同梱のノズルと交換して使用して下さい)
- 工具類 (鋸、カッターナイフ(OLFA 大)、カンナ、ノミ、スケール、ゴムハンマー、サンドペーパー(#80~150程度)等

施工手順

1 下地の確認	○床暖房へのリモデルの場合、既設の床暖房設備が正常に作動していることを確認して下さい。 ○下地の凹凸(不陸)が大きい場合、段差などの原因となりますので、下地の継ぎ目段差は、0.5mm以内として下さい。段差の大きい場合は、カンナ等で、できるだけフラットになるように調整して下さい。 ○下地をきれいに清掃し、表面のゴミを取り除いて下さい。 ⚠ 注意 (1) 巾木納めの場合は、既設巾木をはずして下さい。 (2) 壁見切で納める場合は、壁又は巾木と「サーモタフ」の隙間を5mm程度あけて施工して下さい。
2 既設フローア表面のワックス除去	○市販のワックス剥離剤を使用し、既設の床材表面に残っているワックスを剥いて下さい。ワックスを剥いた後は、固く絞った濡れ雑巾で床表面に残った剥離剤を十分に拭き取って下さい。 ○水拭き後は、十分に床表面を乾燥させてから施工を始めて下さい。
3 割付・墨出し	○部屋隅の納まり等を考慮し、全体の割り付けをして下さい。壁際の部分が極端に狭い板にならないよう1列目の板幅を決定して下さい。1列目は、オス実側をカットし、メス実を残して下さい。 ・ ○貼り始め位置から、長手方向に450mmピッチで墨出しを行います。 ○リモデルフローア見切3T 壁見切を使用する場合は、壁際を5mm程度、すかして、割り付けを行って下さい。 ○貼り順は、貼り始め位置・長手方向の右奥から、左手前方向に順に貼っていきます。
4 切削加工	○鋸又はカッターナイフで加工して下さい。 ・ ○本製品は、硬質基材を使用しているため、カンナでの削り合わせが困難です。サンドペーパーを併用して下さい。 ⚠ 注意 サーモタフの切削加工時は、必ず保護メガネを使用して下さい。破片が飛び散り負傷する可能性があります。

5 両面テープ 施工	○まず、部屋の四周にサーモタフ上貼りテープを施工します。 ○墨出し線の貼り始め側に、墨出し線に沿ってサーモタフ上貼りテープを施工して下さい。この時、線から10～20mm程度離して、テープを施工して下さい。 ○施工後は、しっかりと床面と密着させて下さい。 ⚠ 注意 (1) 必ず墨出し線の貼り始め側に上貼りテープを貼って下さい。 (2) 施工しづらくなりますので、テープと墨出し線は、重ならないようにして下さい。	
6 接着剤塗布	○あたたか用ボンドLの先端ノズルをサーモタフ上貼りテープに同梱の先端ノズル（2穴タイプ）に付け替えて下さい。 ○テープから40mm程度（テープ1本分）離れた位置にあたたか用ボンドを塗布します。さらに、中心にもう1本、あたたか用ボンドを塗布します。 ⚠ 注意 (1) テープとテープの間には必ず、あたたか用ボンドを3本以上塗布して下さい。床材の変形の原因となります。 (2) 一度に接着剤を塗布すると施工しづらくなるため、500mm程度長さずつ接着剤を塗布することをお勧めします。	
7 貼り始め	○上貼りテープの離型シートを剥し、サーモタフを施工します。 ○オス実を奥側、メス実を手前側にして貼り始め位置より施工します。 ○墨出し線に合わせて、1枚目を施工して下さい。 メス実側 オス実側 サーモタフ 断面図	
8 1列目の施工	○1枚目及び基準線に合わせて、2枚目以降1列目を施工します。 ○1枚目エンドのメス実にて2枚目のエンドのオス実を差し込むように施工して下さい。 ○接着剤の染み出しを防止するため、大きく滑らせて実を嵌合しないよう注意して下さい。 ⚠ 注意 (1) サーモタフは、本実加工をしております。メス実下は大変薄くなっておりますので、取り扱いにはご注意ください。 (2) メス実の下実の一部が変形している場合は、オス実を差し込みやすいよう、実を直してから施工して下さい。	
9 2列目以降の 施工	○基準線に合わせて、2列目以降を施工します。 ○メス実におス実を差し込むように施工して下さい。施工後、テープ部分を踏みつけ、よく圧着固定して下さい。 ⚠ 注意 必ずレンガ張り（450mmズラシ等）で施工してください。隣同士の目地が揃うと本製品の変形や破損の原因となります。	
10 納め	○壁見切、段差見切及び巾木等の造作材を施工して下さい。	
11 養生	○軽歩行は24時間（20℃）で可能ですが、床暖房の運転は48時間（20℃）以上経過してから行って下さい。ただし、接着剤が完全に硬化し接着剤強度が出るまでには、5日（20℃）以上かかります。 ○接着剤が完全に硬化するまで、床暖房の使用はしないで下さい。仕上げ材の目隙や変形の原因となります。 ⚠ 注意 床材表面に接着剤、汚れが付着した場合、すぐにシンナーでふき取って下さい。接着剤の硬化後は、取れにくくなり、シミ・汚れの原因となります。	

使用上のご注意

床暖房

- 本製品は、上貼り用仕上げ材です。既設の床暖房床に上貼りする場合、床暖房設備の使用にあたっては、床暖房装置の取扱説明書をよく読み、注意事項を守ってご使用下さい。・
- 床暖房とコタツ、電気カーペットを併用することは避けて下さい。床材表面の異常加熱の原因となりフロア表面を傷付ける原因となります。

凹み・傷

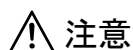
- 本製品は、上履き用です。土足では使用しないで下さい。・
- 本製品は、キャスター付の椅子及び家具の使用において、フロア表面に凹み傷がつきにくくなっております。ただし過度の荷重や同一個所への繰り返しの使用及び、キャスターの材質・形状(金属球キャスター等)によっては、表面の傷つきが目立つ場合があります。・
- ピアノ、ベット等の重量物を置く場合は、敷き板(10cm角程度)を脚部の下に敷き、重量を分散させて下さい。
- テーブルや椅子は、足先にフェルトやゴムキャップ等をつけて、フロア表面を保護して下さい。フロア表面を傷付ける原因となります。(ゴムキャップは、種類によりフロア表面を汚染するものがありますので、ご注意ください)・
- 出入り口には、フロアマット等を置き、砂等が入らないようにして下さい。フロア表面を傷付ける原因となります。

汚れ・水濡れ

- フロアを長時間ぬらしたまま放置しますと、変色、シミ、ひび割れの原因となりますので、速やかに拭き取って下さい。特にキッチンマット等を長時間濡れたまま放置しないようご注意ください。・
- 日常のお手入れは乾拭きとし、水拭きはしないで下さい。汚れがひどいときには、雑巾を水に濡らし、固く絞ってから拭き取って下さい。・
- クレヨン、マジック、油等でフロアを汚した場合は、家庭用ベンジン等で拭き取って下さい。ワックス掛けをしている場合は、ワックスも取れますので、再びワックス掛けして下さい。クレンザー類は、フロア表面を傷付けますので、使用しないで下さい。

ワックス掛け

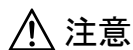
- 長期間に渡って美観を保つためには、定期的にワックス掛けをすることが効果的です。・
- ワックスは、別売りのダイケンDKワックスネオをご使用下さい。6ヶ月に1回が目安です。・
- ワックス塗布後は、換気をよくして十分に乾燥させて下さい。

**注意**

ワックス掛けする時は、床暖房のスイッチを切り、床面の温度が下がってからワックス掛けして下さい。床面が暖かいうちにワックス掛けすると、艶ムラになりますのでご注意ください。

性能に関するご注意

- 「サーモタフ」は、寸法安定性に優れた製品です。ただし、湿気を吸うと伸び、床暖房仕様で乾燥が進むと縮む特性があります。そのため、季節による湿度変動により、軽微な目隙が発生する可能性があります。

**注意**

既設の床暖房設備より、若干の温度低下があります。特に室温の低い時(立ち上がり時等)は、温まりが悪いと感じる場合があります。必要に応じて、床暖房の設定温度を調整して下さい。

大建工業株式会社

〒530-8210 大阪市北区堂島1丁目

6番20号(堂島アバンザ)

製品に関するお問い合わせ先	東京 内装材事業企画室 大阪 内装材事業企画室	東部営業課… TEL03-3249-4876 西部営業課… TEL06-6452-6121
品質に関するお問い合わせ先	東京 内装材事業部 大阪 内装材事業部	品質保証室… TEL03-3249-4815 品質保証室… TEL06-6452-6240